



中世の厳島文化と地域史料の研究

人間文化学部 国際文化学科

教授 松井 輝昭 (まつい てるあき)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1925号室
Tel 082-251-5178(代表)
E-mail matsui@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 日本中世文化史 文書管理史 瀬戸内社会史論
古文書学 地域文化研究

キーワード： 厳島神社 中世文書 地域文化 瀬戸内海 海賊

●研究内容

○ 中世文化史や文書管理史・古文書学などに関心を持ち、広島県域や瀬戸内海に視点を据えて、地域文化の掘り起こしや史料の発掘などを行ってきました。その成果は幾つかの市町村史や論文など公表しています。

○ 文書管理史につきましては、厳島神社に伝えられた文書を素材とする、松井輝昭『厳島文書伝来の研究 中世文書管理史論』（吉川弘文館、2008年）をまとめています。

○ 最近、中世の厳島神社の歴史について、中世文化史、神道史の観点から、集中的に従来の諸説の見直しを行っています。その結果、幾つかの見過ごされてきた史実に光を当てるとともに、忘れ去られた文化事象や文物の史的意義を明らかにしています。

○ これからは、地域の中世文書やその他の史資料を手掛かりとして、地域の人々のコミュニケーション史や心性史にもチャレンジしたいと考えています。

●期待される成果と応用

○ 厳島神社の中世史の全体像を取りまとめることによって、世界文化遺産厳島神社の形成過程とその基礎となるものを明らかにすること

ができます。

○ 都と田舎の交流の視座から、厳島神社の文化の特質を検証することで、日本文化史の可能性について素材を提供することができます。

○ 瀬戸内海に生きる人々の交流史やコミュニケーション史の研究を進めることで、将来の地域連携の歴史的前提を明らかにすることができます。

●想定される連携先

- 各地の公民館などの生涯学習施設
- 各地の資料保存機関・博物館
- 地域住民などの学習組織